

第8回健康都市連合国際大会へ参加 先進国における先導モデル都市としての国際社会への貢献と 世界の先進都市との交流へステップ

- 平成 30 年 10 月 17 日から 19 日までマレーシアで行われる第 8 回健康都市連合国際大会に参加。
- 分科会において、市長が本市のこれまでの健康づくりの取り組みについて「人生 100 年時代の健康都市」と題して発表。
- 国内外の様々な都市や団体等へ本市の取り組みを P R するとともに、国際的なネットワークを活かした健康寿命延伸に関する情報共有や先進施策の情報収集を行い、本市の健康文化都市のさらなる発展につなげる。
- 本大会で表彰が行われる WHO（世界保健機関）表彰と A F H C（健康連合）表彰という 2 つの国際アワードへ論文を応募。

1 目的

袋井市は、平成 5 年に「日本一健康文化都市」を宣言し、「心と体」、「地域と社会」そして「都市と自然」が良好な状態で住みよいまちを“健康”と捉え、市民との協働により、全てが「健康」であるまちづくりを推進してきた。

これまでの長年にわたる本市の取り組みは、平成 28 年度には、生活習慣病予防への優れた取り組みとして、厚生労働省主催の「健康寿命をのばそう！アワード」の 2 部門で入賞し、国内の先導モデルとして評価された。

今後は、さらなる健康づくりの推進を図るとともに、先進国における先導モデル都市としての国際社会への貢献及び世界の先進都市との交流へとステップを進めていくため、10 月にマレーシアで開催される「第 8 回健康都市連合国際大会」に参加し、国内外の様々な都市や団体等へ本市の取り組みを P R するとともに、国際的なネットワークを活かした健康寿命延伸に関する情報共有や先進施策の情報収集を行い、本市の健康文化都市のさらなる発展に繋げていく。

2 国際大会の概要

(1) 健康都市連合（A F H C）

都市の住民の健康を守り推進することを目的に、WHO 西太平洋地域を中心とした健康都市に取り組む都市間ネットワークであり平成 15 年に発足した組織。

会員は、西太平洋地域の地方自治体・政府・NGO・民間組織・学術団体等により構成されており、本市は平成 17 年に加盟、加盟団体は本年 8 月現在で 233 団体。

(2) 第8回国際大会の概要

ア 目的 健康都市連合のメンバーである地方自治体、政府、NGO、民間組織等が、市民の健康を促進・維持するために、意見交換及び優れた取り組みに対して表彰する場として開催

イ 開催頻度 2年に1回（前回は韓国で開催）

ウ 開催地 マレーシア・サラワク州・クチン市
ボルネオ・コンベンションセンター・クチン

エ 大会期間 平成30年10月17日（水）～19日（金）

オ 大会テーマ 私たちのまち、私たちのSDGs、私たちの歩み

※SDGs…国連による持続可能な開発目標

3 分科会発表

- (1) 分科会テーマ 「人」のための健康都市
- (2) 発表タイトル 「人生100年時代の健康都市」
- (3) 発表者 袋井市長 原田英之

分科会発表

4 アワード（表彰）への応募論文

- (1) WHO（世界保健機関）表彰
（健康都市としての優れた具体的な取り組みを表彰）

WHO表彰

ア WHO健康都市賞

- ①より効果的な生活習慣病予防のための健康知識とセルフケアを改善するコミュニティ支援活動
- ②運動活動（ウォーキング等）の活発な都市
- ③健康的な食品環境を通じての健康食習慣の促進

- (2) AFHC（健康都市連合）表彰

（都市としての健康も含む、まちの健康に関する優れた取り組みを表彰）

AFHC表彰

ア クリエイティブ・ディベロップメント賞（創造的発展賞）

- ①健康都市プログラムを通してのSDGsの達成
- ②レジリアンスと緊急時対応のための計画

※レジリアンス…自然災害に対する回復力

イ プロGRESS賞（進歩に対する賞）

- ①「健康都市の取り組みの進捗状況チェックリスト」に基づくプロセス評価